保存版

高城地区 地域福祉活動計画書改訂版

～ふるさとを愛し、誇りを持ち、新しい時代を拓く高城人を育む～

写真　平成27年11月3日ボランティアふくしまつり　より
高城中学校の先生・生徒ボランティア活動　協力してもらいました

平成２８年３月

（さくらゆかい）
みんなで たっちゃがろ 桜友会
高城地区社会福祉協議会

高城地区地域福祉計画・活動計画

ス　ロ　ー　ガ　ン

「ふるさとを愛し、誇りを持ち、新しい時代を拓く高城人を育む」

安らぎとふれあいのなかで、共に支えあい、だれもが役割を担える福祉のまちづくり目指して、高城地区内の社会福祉事業を推進するため平成 20 年 3 月地域福祉計画・活動計画が作成され、高城地区を４小学校区（高城小・石山小・有水小・四家小）に分けて、それぞれの困りごと解決に向け地域生活支援会議を開催し、高城地区社会福祉協議会を中心に地域住民・行政・市社会福祉協議会協働で取り組んで参りました。

誰もが安心して住みなれた地域で暮らせる社会をつくるために、この度当初の計画を検証し１段階から３段階　もっと先の夢めざしてこの改正により各小学校区の生活支援会議で重点目標を定め、更なる充実を図っていきます。

目標達成のために、住民の皆様や行政、民児協・自治公民館・ボランティア団体・高齢者クラブ・社協・学校関係者等と連携していく必要があります。

皆様のご協力をお願い致します。

平成２８年　３月

高城地区社会福祉協議会

会　長　　石　田　　了

高城地区地域福祉活動計画策定委員

氏名	所属
石　田　　了	高城地区社会福祉協議会会長（13 自治公館長）
黒　川　洋　子	高城地区社会福祉協議会副会長（民児協会長）
宮　田　早　苗	高城地区社会福祉協議会副会長（食改会長）
福　元　敏　治	高城小区生活支援会議会長（3 自治公館長）
宮　脇　茂　美	石山小区生活支援会議会長（９自治公館長）
松　田　芳　美	有水小区生活支援会議会長（14 自治公館長）
久　保　時　治	四家小区生活支援会議会長（新 19 自治公館長）
新　地　安　弘	都城市高城総合支所　市民生活課　課長
森　山　慎　悟	都城市社会福祉協議会地域福祉課副課長
木野田　　毅	都城市立高城中学校長
中　園　伸　夫	都城市社会福祉協議会高城支所長
星　原　真由美	都城市社会福祉協議会高城支所主事
原　口　安　雄	高城地区社会福祉協議会事務局長
井　窪　珠　江	高城地区社会福祉協議会会計

高城地区活動計画改正（４小学校区）

高城小学校区生活支援会議（第１～第８自治公民館）

「豊かな心を育む」ために、交流を図りましょう

困りごと

環境衛生（ゴミ処理）
次世代につなぐ人材育成
子育て・親育て
公民館の活性化
独居老人の見守り
伝統継承の問題

問題解決に向けての主な活動メニュー
３ページ
基本目標
「歴史・文化・伝統を敬いゆとりと豊かな心を育む世代間交流・人材育成のまちづくり」

今後の重点目標　について　平成27年10月3日生活支援会議を開催し「独居老人の見守り」を目標とすることを決定しました。

右は生活支援会議の様子

「独居老人の見守り」について

- 高城小学校区の１～８自治公民館の取り組みを支援会議で発表して欲しい
- 欠席者へ今日の資料を送付して欲しい
- 自分ところの公民館は移動販売車の場所を１箇所は公民館にしてもらいその場を高齢者の集いの場として取り組んでいる
- 統一した取り組みを示して欲しい
- それぞれの公民館の方法があるので共通意識を持ちできることから実施。

などの意見がだされました。

今後３ページにありますように、問題解決に向け２段階３段階と行政・社協・高齢者クラブ・ボランティア・民児協・自治公民館と連携し取り組んでまいります。

高城小学校区（第1～第8自治公民館）

困りごと		問題解決のメニュー		1段階		2段階		3段階	達成度
①環境衛生（ゴミ処理）	⇒	環境対策	⇒	リサイクルに関する啓発活動を行う	⇒	各種イベントにおけるゴミ減量対策	⇒	自治公民館に環境部を作る	2段階までほぼ達成
②次世代につなぐ人材育成	⇒	人材育成、ボランティアの活用	⇒	町内ボランティアを集約発展拡充	⇒	養成講座の開催リーダー育成	⇒	組織体制づくり・活動発表の機会を設ける	ほぼ達成
③子育て・親育て	⇒	子育て支援	⇒	保護者のニーズ調査	⇒	ふれ合い運動推進サロン等	⇒	広報誌の発行・子育てサロン	ほぼ達成
④公民館の活性化	⇒	公民館の活性化・加入促進	⇒	福祉座談会推進組織づくりの啓発・集落イベントの呼び掛け	⇒	楽しいイベント・加入促進のための人材育成	⇒	福祉部を自治公民館に作る	1段階までほぼ達成
⑤独居老人の見守り	⇒	一人暮らしの高齢者支援	⇒	配食等の実施安否確認・声かけ	⇒	声かけ運動体制むけ話し合い	⇒	一人暮らし集いの場の確立	2段階ほぼ達成
⑥伝統継承の問題	⇒	伝統継承・世代間交流	⇒	休日を利用したふれあい交流	⇒	親子で出来る地域事業の企画	⇒	地域住民が一同に会しレクリエーション活動に取り組む	ほぼ達成

今回活動計画の見直しに当り、6項目についてはいきいきサロンや配食サービス・ボランティア・高齢者クラブ・民児協と連携し公民館活動により2段階・3段階と進むよう継続しつつ特に次を重点目標とする。

重点目標
⑤独居老人の見守り
超高齢化が進みどう地域で支え合う仕組みづくりをどのようにするか課題であります。
今以上に、いきいきサロン・配食サービスを重点目標に民児協・ボランティア団体・高齢者クラブと連携して集いの場や訪問活動の充実を図る。

石山小学校区生活支援会議（第9～第12自治公民館）

「安心安全」のために、取り組んでいきましょう

困りごと

高齢者の健康維持
高齢者一人暮らし対策
在宅障害者の集える場が欲しい
子育て支援対策
災害時対策

問題解決に向けての主な活動メニュー
５ページ
基本目標
「安全・安心・住んでよかとこ、意志山の地域づくり」

今後の重点目標　について　平成27年11月5日生活支援会議（石山よかとこ会）を開催し、命の大切さに鑑み引き続き　「災害時対策（安心安全対策）について」を目標とすることを決定しました。

右は生活支援会議（石山よかとこ会）の様子

「災害時対策（安全対策）について」について

石山小学校区の支援会議で

・自主防災隊と連携しては
・マップ等の作成費用の助成は
・各自治公民館の困りごと達成度の確認
・平成24年時の支援会議に参加したが、その時緊急時の連絡網の整備までありその後断ち切れとなっている。
・当初の計画書を見ながら進めるのが分かりやすい。
・目標を決めたがそれを具体的にどう進めていくかが課題
・今度このような会議をするときには、消防関係者も参加させるべき。

などの意見がだされました。

今後５ページにありますように、問題解決に向け２段階３段階と行政・社協・高齢者クラブ・ボランティア・民児協・学校関係者・自治公民館と連携し取り組んでまいります。要援護者ネットワーク台帳・安心・安全マップ点検見直しを実施して行きます。

石山小学校区（第9～第12自治公民館）

困りごと		問題解決のメニュー		1段階		2段階		3段階	達成度
①高齢者の健康維持	⇒	高齢者の健康維持	⇒	いきいきサロンへの継続実施に向けたシステムの構築	⇒	健康維持や介護予防を目的としたサロンへの転換	⇒	いつでも気軽に集える場の創設	2段階までほぼ達成
②高齢者一人暮らし対策	⇒	在宅高齢者支援・独居高齢者支援	⇒	近所の声かけ運動・配食サービスを利用した安否確認	⇒	声かけ運動体制にむけての話しあい	⇒	一人暮らし集いの場の確立	1段階ほぼ達成
③在宅障害者の集える場が欲しい	⇒	在宅障害者の集える場づくり	⇒	障害者に関する学習の場を設ける	⇒	協力者・ボランティアを育成する。専門職協力による支援体制の構築	⇒	サロン実施に伴う調整及び支援	1段階ほぼ達成
④子育て・親育て	⇒	子育て支援	⇒	支援システム作りに向けた協議の場作り	⇒	親子体験教室の開催・地域との交流	⇒	身近な地域でのサロンの実施	2段階までほぼ達成
⑤災害時対策（安心安全対策）	⇒	地域での安全対策	⇒	子どもから高齢者・障害者から見た危険箇所点検実施	⇒	防災ハザードマップの作成・周知・地域安全に関する研修会の実施	⇒	地域安全パトロール隊の発足	2段階までほぼ達成

重点目標の「災害対策（安心安全対策）」については、援護者ネットワーク台帳の作成・安心安全マップを作成して取り組んできた。
今回活動計画の見直しに当り、5項目についてはいきいきサロンや配食サービス・ボランティア・高齢者クラブ・民児協と連携し公民館活動により継続しつつ
重点目標は、引き続き「災害時対策（安心安全対策）」を重点目標とする。

重点目標　⑤災害時対策（安心安全対策）
要援護者ネットワーク台帳・安心安全マップの見直し点検作業を実施し拡充を図っていく。

有水小学校区生活支援会議（第13～第17自治公民館）

「地域ぐるみで、共に」取り組んでいきましょう

困りごと
人材育成
高齢者一人暮らし対策
医療機関不足
地域の安全対策
いきがい・世代間交流
子育て支援対策
少子化で伝統継承が難しい
猿害対策

問題解決に向けての主な活動メニュー

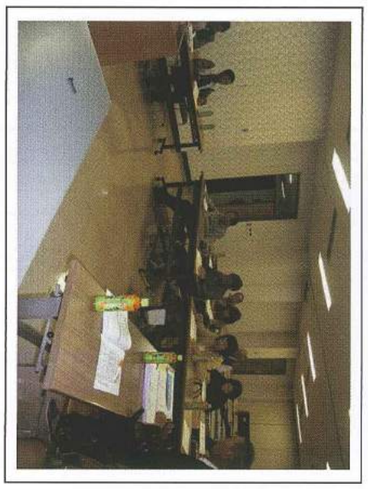
7ページ

基本目標

「広げよう、次世代に活かす人材育成の地域づくり」

今後の重点目標　について　平成27年10月24日生活支援会議を開催し、超高齢化に鑑み、引き続き　「高齢者一人暮らし対策」を目標とすることを決定しました。

右は生活支援会議の様子



「高齢者一人暮らし対策」について

有水小学校区の支援会議で

「　声掛けについて　」

・班長さんが回覧をもって行く時に必ず声かけの徹底

・一人暮らしに防犯ベルの所持をさては

・モデル地区が世代間交流を積極的に取り入れている。

配食サービス等も充実している。

・大人だけでなく子どもの見守りもあわせて実施しては

・青色パトロールカーと連携して現在パトロールを実施している

・各公民館で実施している「いきいきサロンや配食サービス」の拡充

・それぞれの自治公民館が共通意識をもち目標に向かってできることから始める。

などの意見がだされました。

今後7ページにありますように、各項目の問題解決に向け2段階3段階と行政・社協・高齢者クラブ・ボランティア・民児協・自治公民館と連携し取り組んでまいります。モデル地区同様・いきいきサロンの実施や高齢者一人暮らしへ声掛けの徹底、緊急時の連絡網作成等を実施して行きます。

有水小学校区(第13～第17自治公民館)

困りごと		問題解決のメニュー		1段階		2段階		3段階	達成度
①人材育成	⇒	公民館の活性化	⇒	福祉座談会・推進組織づくりの啓発・集落イベントの呼び掛け	⇒	楽しいイベント・加入促進のための人材育成	⇒	福祉部を自治公民館に作る	2段階までほぼ達成
②高齢者一人暮らし対策	⇒	在宅高齢者支援・独居高齢者支援	⇒	近所の声かけ・配食サービスを利用した安否確認	⇒	声かけ運動体制むけ話しあい	⇒	一人暮らし集いの場の確立	モデル地区はほぼ達成
③医療機関不足	⇒	身近な医療体制づくり	⇒	予防の活用・自分たちで健康について考える。学びの場作り	⇒	地区内の開業医と連携強化、地域での往診の継続	⇒	地域医療体制の構築	1段階ほぼ達成
④地域安全対策	⇒	要援護者支援・安全対策	⇒	要援護者の台帳作成・管理・子どもから高齢者・障害者から見た危険箇所点検実施	⇒	地域育成部の活動拡充・防災ハザードマップの作成・周知	⇒	要援護者支援ネットの組織化・地域安全パトロール隊の発足	モデル地区はほぼ達成
⑤生きがい・世代間交流	⇒	ボランティアの活用	⇒	ボランテイア活動メニューの開発	⇒	地区内のボランテイア団体の組織化	⇒	需給調整窓口の一本化	2段階までほぼ達成
⑥子育て・親育て	⇒	子育て支援	⇒	支援システムに向けた協議の場作り	⇒	親子体験教室の開催・地域との交流	⇒	身近な地域でのサロンの実施	2段階までほぼ達成
⑦少子化で伝統継承が難しい	⇒	伝統継承・世代間交流	⇒	休日を利用したふれあい交流	⇒	親子で出来る地域事業の企画	⇒	地域住民が一同に会しレクリエーション活動に取り組む	ほぼ達成
⑧猿害対策	⇒	猿害対策への取り組み	⇒	農家同士の意見交換を行う	⇒	農家と専門家との学習会	⇒	関係機関と連携して支援体制の確立が不可欠	ほぼ達成

重点目標の「高齢者一人暮らし対策」についてモデル地区（第13自治公民館）においては、緊急時の連絡網作成・防災研修・地図上に空き家・広場・防火水槽を色付けしたマップを作成・近所の声かけ・配食サービスを利用した安否確認の実施。
今回活動計画の見直しに当り、8項目についてはいきいきサロンや配食サービス・民児協と連携し公民館活動により継続しつつモデル地区以外にも拡充する、引き続き「高齢者一人暮らし対策」を重点目標とする。

重点目標　②高齢者一人暮らし対策
モデル地区以外にもモデル地区同様の事業の展開拡充を図っていく。
そこで、声かけ運動やいきいきサロン・配食サービスに重点を置き推進する。

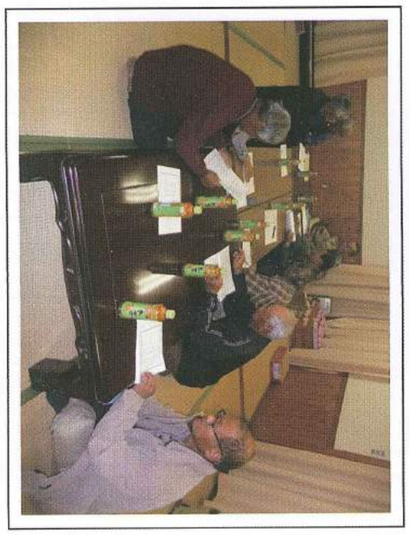
四家小学校区生活支援会議（第18・第19・第新19・第20自治公民館）
「交流と絆」を大切にしながら、取り組んでいきましょう

困りごと
高齢者の交通手段が少ない
過疎化（空き家の増加）
後継者不足
情報網の整備
独居老人の見守り
身近な医療機関不足
少子化で伝統継承が難しい

問題解決に向けての主な活動メニュー
9ページ
基本目標
「思いやり、支え合う・心の絆づくり」
「自然・環境を活かした交流の地域づくり」

今後の重点目標　について　平成27年10月31日生活支援会議を開催し、「独居老人の見守り」を目標とすることを決定しました。

右は生活支援会議の様子



「独居老人の見守り」について

四家小学校区の支援会議で
・移動販売車の停まる箇所を増やして欲しい
・サロンをするにも高城地区公民館　四家分館が使えない。
・サロン等の呼び掛けは民生委員だけでなく公民館長にも話して欲しい。
・四家地区は高齢者が多いので、会食の支度をするボランティアがいない。
・生き生きサロンは、会食だけでなく健康教室・寄せ植え教室・レクレーションなどの活動することもできる。
・今後地域生活支援会議を開催していく。
などの意見がだされました。

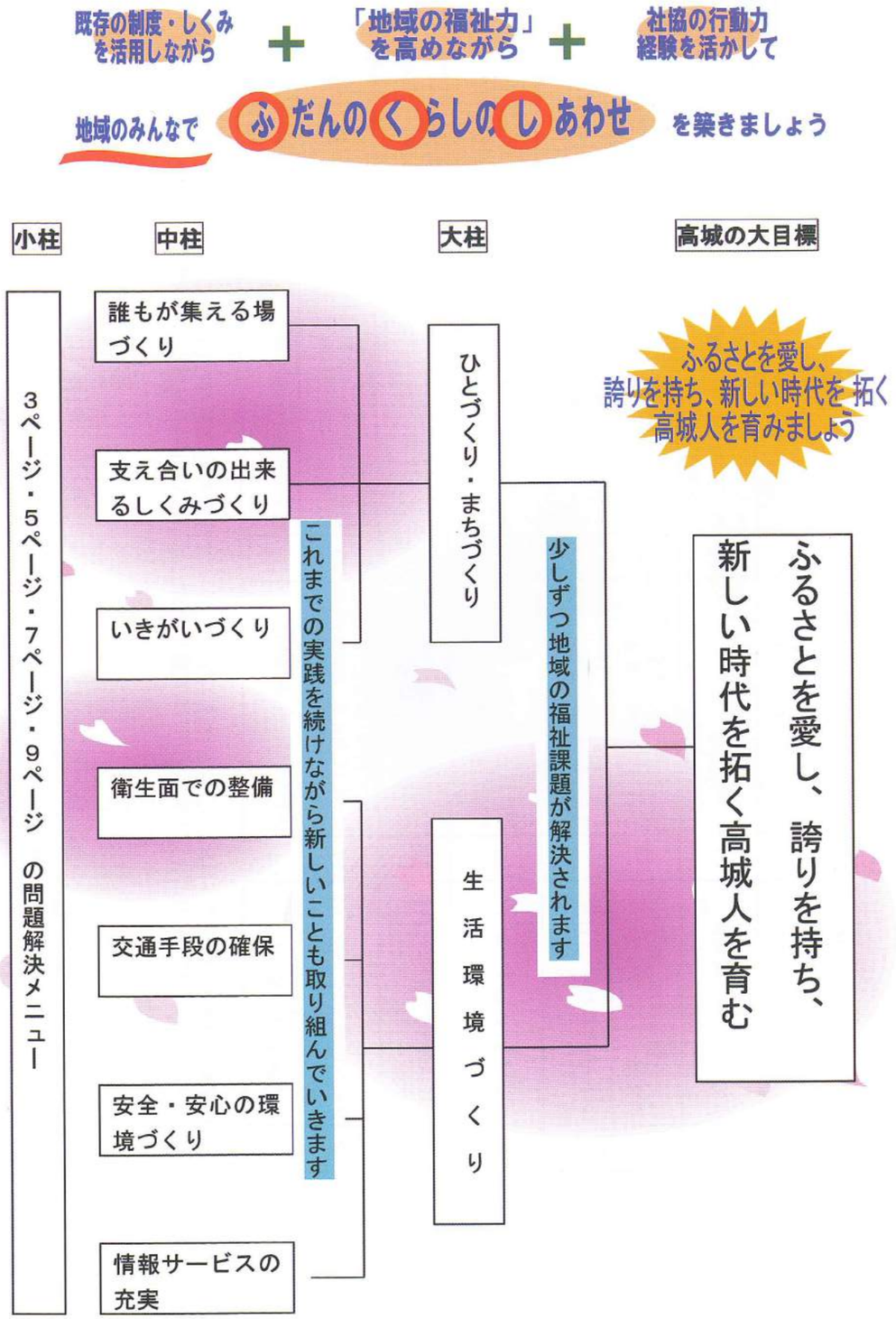
今後9ページにありますように、問題解決に向け1段階2段階3段階と行政・社協・高齢者クラブ・ボランティア・民児協・自治公民館と連携し取り組んでまいります。

四家小学校区（第18・第19・第新19・第20自治公民館）

困りごと		問題解決のメニュー		1段階		2段階		3段階	達成度
①高齢者の交通手段が少ない	⇒	高齢者の交通手段対策	⇒	ニーズ調査	⇒	移送ボランティアの募集・講習会の開催・関係機関との連携	⇒	移送ボランティアグループの組織化	
②過疎化(空き家の増加)	⇒	在宅高齢者支援・独居高齢者支援	⇒	地域支援会議の開催・ボランティア養成講座の開催	⇒	見守り、声かけ、訪問活動・要援護者の見守り生活支援メニューづくり	⇒	共働き家庭をサポート・若者出会いをサポートする活動の展開	
③後継者不足	⇒	少子・高齢者対策・人材育成	⇒	地域支援会議の開催	⇒	各集落の出前講座による養成講座の開催・リーダーの育成	⇒	各所人材育成のためのメニュー開発	
④情報網の整備	⇒	情報伝達・公開	⇒	個人情報の学習会・市広報の回覧方法を再考	⇒	人が集う機会を多く設ける。個人情報に関するテキストを作成し、地域住民に周知する。	⇒	市の広報・地区社協だよりに地域情報を載せる	
⑤独居老人の見守り	⇒	在宅高齢者支援・独居高齢者支援	⇒	近所の声かけ・配食サービスを利用した安否確認	⇒	声かけ運動体制むけ話しあい	⇒	一人暮らし集いの場の確立	
⑥身近な医療機関不足	⇒	身近な医療体制づくり	⇒	予防の活用・自分たちで健康について考える。学びの場作り	⇒	地区内の開業医と連携強化、地域での往診の継続	⇒	地域医療体制の構築	
⑦少子化で伝統継承が難しい	⇒	伝統継承・世代間交流	⇒	休日を利用したふれあい交流	⇒	親子で出来る地域事業の企画	⇒	地域住民が一同に会しレクリエーション活動に取り組む	

重点目標定め本来地域生活支援会議を開催し、推進すべきところ会議が開催されていないので今後早急に開催していきます。
今回活動計画の見直しに当り、7項目についてはいきいきサロンや産業祭り・民児協と連携し公民館活動により継続しつつ次を重点目標とする。

重点目標　⑤独居老人の見守り
超高齢化が進みどう地域で支え合う仕組みづくりをどのようにするか課題であります。
サロン等が未実施の公民館は実施に向けて取り組むなど1人暮らしの集いの場つくるため取り組んでいきます。



高城中学校に於いて　平成 27 年 11 月 5 日（木）共同募金出前講座より
事前アンケート（抜粋）

街頭

- 学校から第４自治公民館地区までの帰り道が暗いので街灯が欲しい。
- 学校から第７自治公民館地区までの帰り道街灯が少ない
- コスモスの近くの道に電柱（街灯)がもう２本欲しい
- 家の周りが夜になると真っ暗になって全然見えない（第８自治公民館）

道路

- 桜木の橋近くの歩道に立っている反射板の棒が折れて、とれた所がとがっていて危ない
- 大井手のホタルの里近くの大きい橋の道路がデコボコして危ない
- 大井手の春日神社の近くのアパート前道路がデコボコして危ない
- 通学時トラックが多くて危ない（コスモス工場）
- 第３自治公民館地区自転車通学の通る道路にガードレールがない
- カーブミラーが汚れて見えないところがある
- ロードミラーをつけて欲しい
- 通学路の高校側の道が狭く、ガードレールが無いところがある道を広くして欲しい
- 大淀川の橋の所が危ない
- 用水路のガードレールが壊れている
- 通学路で歩道がなく車が近くを通るので危ない
- 10 号線に信号のない所がある（８自治公民館セブンイレブン前）
- 横断歩道がないところがある
- 通学路でのりが張って、雨に日はすべって危ない
- 軍神原住宅前の竹で鹿児島放送が入らないので竹を切ってほしい
- 自転車の時に段差があったり途中道が狭くなったりしている
- 子供が通る道に柵をしてほしい

空き家

- 空き家のとおり道にはみ出した雑草があり高齢者が散歩の際さけて道路を歩くので危ない
- 屋根が陥没している家がある
- 空き家が多い
- 少しの台風や地震でも壊れそうな家がある
- 空き家をなくした方がいい、燃やされたりするから

ポイ捨て

- 空き缶やお菓子のゴミのポイ捨て
- 道路や家の前にゴミがある
- 10 号線沿いにゴミがたくさん落ちている

野良猫

- 野良猫が夜にうるさい

- 野良猫がひかれているのをよく見る
- 野良猫がちょっと多い
- 野良猫がたくさんいる
- 野良猫が道路をうろちょろしており、今年にはいって３～４匹ひかれている
- 野良猫はみんな拾った方がいい、殺されてしまうから
- 野良猫が車にひかれたり、おなかがすいていて「ニャー」と寄り添って来たりしているので、もしみつけたら保護してほしい
- 自分の家の外に野良猫がフンをする
- 野良猫がうろうろしていて危ない

変質者
- パンツを一枚だけはいてチャリに乗っているおじさん
- 変質者が気になる
- 変なことをする人

高齢者
- 高齢者の飛び出し
- 一人暮らしの高齢者がとても心配
- 近所の一人暮らしの高齢者を最近みかけない
- 老人ホームではなく、お年寄りも楽しめる施設の増加
- 一人暮らしの高齢者は老人ホームにいった方がいい。寂しい、かわいそう、死んだりする。自由に行動できない

その他
- バイクの音が気になる
- 近くに住んでいる高齢者がうつ病でときどき家に行ったら包丁を持って出てくるから怖い
- 人目の届かない狭い道路でのゴミやトンネルの落書き
- 学校を地震に強くしてほしい
- 学校を新しくしてほしい
- 制服をなくしてほしい

共同募金出前講座の様子

ふだんの
くらしの
しあわせ
のために

地域みんなで たっちゃがりましょう

表紙の写真
「ボランティアふくしまつり」平成２７年度
今回も高城中の生徒が協力してくれました

都城市高城地区地域福祉活動計画

平成２８年３月

編集･発行：みんなで たっちゃがろ 桜友会
（高城地区地域福祉活動計画策定委員会）

〒８８５－１２０２
都城市高城町穂満坊３０３番地２
（高城老人福祉館内）
高城地区社会福祉協議会
ＴＥＬ　０９８６－５８－３２７９
ＦＡＸ　０９８６－５８－５６１２